

# 広島市植物公園 見どころ案内

## ミツマタ

(ジンチョウゲ科)

枝が必ず三つに分かれる(三叉)ことから名付けられました。小さな黄色い花を下向きに咲かせています。樹皮は和紙やお札の原材料になります。

ユキワリイチゲ

## ハナモモ 雛遊び (バラ科)

広島市内で発見された早咲きのハナモモ園芸品種。

## ツバキ各種 (ツバキ科)

肥後椿(江戸時代に熊本で作られた一重で大ぶりの椿)やユキツバキ(日本海側に自生する雪に強い椿)のなかまが見ごろです。

## トサミズキ (マンサク科)

名前のとおり高知県に自生しているマンサク科の植物です。まだ葉が無いので枝から黄色の花がぶら下がっている様子がよく分かります。

## シナマンサク (マンサク科)

中国原産で、1~3月に黄金色のリボン状の花を咲かせます。中央部は暗赤色です。橙色の園芸品種も咲いています。

## サンシュユ (ミズキ科)

中国原産の植物で、早春に枝の先に小さな黄色い花をたくさん咲かせることから、別名ハルコガネバナ(春黄金花)とも呼ばれます。

## カワヅザクラ (バラ科)

河津(かわづ)は静岡県の地名です。オオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑種と考えられています。紫紅色の花を咲かせています。

## ウメ 巻立山 (バラ科)

紅白の梅が一株から咲いているように見えますが、巻立山(まきたちやま)は白梅です。富山の立山が由来ですが、古い言葉でたちやま(多知夜麻)と読みます。紅は別種ですが、遠目にきれいに見えるので、紅白で残っています。

## ウメ 藤牡丹枝垂れ (バラ科)

当園の職員は登竜梅と名付けています。淡紅色の八重咲きの花が見頃です。

## フクジュソウ(福寿草) (キンポウゲ科)

「春の妖精」が見頃です。フクジュソウ1種に分類していたものを最近では地域毎に4種類に分けることが一般的です。有毒で新芽がフキノトウに似ているため、中毒事故が度々起こっています。

## カランコエ各種

(ベンケイソウ科)

乾燥に強い多肉植物の一種。小さく可憐な色とりどりの花を咲かせています。

ガステリア各種

## ヒマラヤユキノシタ

(ユキノシタ科)

ヒマラヤ周辺原産の植物です。日本のユキノシタと比べると株が大きく、日向や乾燥気味の場所でもよく育ち、ピンク色の花を咲かせます。

## ベニバナトケイソウ

(トケイソウ科)

中南米原産の植物で時計のような形をした赤い花を咲かせます。仲間には熱帯果樹のパッションフルーツがあります。

## クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

本来のクリスマスローズはヘレボルス・ニゲルを指していますが、日本ではヘレボルス属を一括りにしてこう呼んでいます。

